

【教育の最新事情に関する事項（必修）】

開 講 日	平成 23 年 8 月 7 日（日）		
講 習 時 間	9:00～10:30（10分休憩）10:40～12:10 3時間		
科 目 名	学校の内外における連携協力についての理解		
担当講師名	菊地 達夫	形 態	講義
到 達 目 標	<p>児童生徒にとっての危険箇所の見分け方について理解できる。</p> <p>地域社会・保護者と連携しての危機管理対策の在り方について理解できる。</p>		
講 習 内 容	<p>1．危険箇所の見分け方（90分）</p> <p>（1）主な危機管理対策の対象 危機管理対策は、地域の事象について把握することがまず大切です。しかしながら、どのような場所が危険かは、危機管理の対象によって、若干異なります。その見分け方の視点について触れます。</p> <p>（2）対象別の主な危険箇所 交通安全対策・不審者対策・自然災害対策の主な危険箇所について取り上げます。</p> <p>（3）内容の確認 校区の主な危険箇所について、思考しながら、いくつか挙げてもらいます。</p> <p>2．危機管理対策の在り方（90分）</p> <p>（1）危機管理情報の共有 情報の公開、情報の更新（修正）の必要性について触れます。</p> <p>（2）地域安全マップの作成と意義 地域安全マップの作成手順について解説します。その過程での保護者、地域住民の協力の求め方についても触れます。</p> <p>（3）全体のまとめ 1及び2についてまとめや確認を行います。</p>		
評 価 の 基 準	講義への積極的な参加（小レポート作成を含む）・最終試験結果		
履 修 上 の 注 意	校区（通学圏）における主な自然的事象や人文社会的事象の特色について理解を深めておくこと。		
持 ち 物	筆記用具		